



■Topics

群馬県全域への展開を目指す MaaS サービス「GunMaaS」の取組

【前橋市 未来創造部 交通政策課 ・ 群馬県 知事戦略部 交通イノベーション推進課】

事業実施の背景

前橋市は、群馬県の県庁所在地で、人口は約33万人(令和5年5月末日)です。

全国的にみても、**日常的な移動の自動車依存率の高い都市**で、高齢化が進展する中、運転できなくなると生活していけなくなるという課題が生じていました。また、市内の公共交通は乗合バスだけでも6事業者が運行しており、**分かりづらさや運行効率の悪さ**が課題となっていました。

前橋市における交通再編の取り組み

これらの課題に対し、平成30年3月、「前橋市地域公共交通網形成計画(当時)」を策定、コンパクトなまちを目指し、バス路線の再編を中心施策と位置づけ、取り組みを推進してきました。

また、令和3年6月には同計画を改正する形で「前橋市地域公共交通計画」を策定、独占禁止法特例法の活用による**都心部路線の共同経営**や、**事業者間の連携の高度化**、**デジタル技術の活用**等を重点施策と位置づけ、**公共交通の「1つの移動サービス」への転換を目指す取り組み**を進めています。

「MaeMaaS」の取り組み

「MaeMaaS」は、令和元年度に前橋市で実証実験が開始され、モード横断的なリアルタイム経路検索やデジタルフリーパスの提供、デマンド交通サービスの予約システムの統一等が図られてきました。

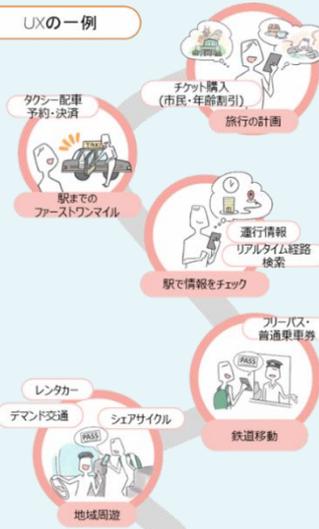
また、飲食店で使用できるクーポンの提供など**交通と商業との連携**、あるいは**マイナンバーカードとの連携による年齢や性別等に応じた個別施策の提供**も図られてきました。

「MaeMaaS」から「GunMaaS」へ

令和5年3月、サービスの高度化と、県内全域への展開を見据え、「MaeMaaS」は「GunMaaS」へとリニューアルし、サービスの拡充が進められています。

将来的には、**商業のほか、福祉・教育・防災など他分野との連携**を図り、**県民向けサービスの共通基盤となることを目指し**、山間地や観光地での利用を想定したモデルづくりの検討や、他分野と連携したシステムの実装に向けた取り組みを行い、県全体への普及拡大を推進しています。

- ✓ 目的地までのルート検索から予約、決済までが一つの手続きで完結
- ✓ マイナンバーカードの個人認証による個別最適化された交通や行政サービスを提供



主な提供コンテンツ

info	リアルタイム経路検索	デマンド予約 (経路検索連動)	3 私鉄Suica /OR認証
タクシー配車	交通チケット ※マイナンバー連携 市民割引・年齢割引	Suica/マイナンバーカード認証	
バスロケ	イベント情報表示 ※データ連携基盤活用		

【取組の詳細はこちらから】前橋市・群馬県提供資料

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/139-1sougoukoutsu.pdf>



総合交通体系グループだより

▶ 国・地方公共団体職員向け研修のご案内

令和5年度 総合交通体系〔地域モビリティ戦略〕研修

本年度も、交通関連業務に従事する国・地方公共団体の職員を対象に、「総合交通体系〔地域モビリティ戦略〕研修」を開催します。

地域交通の課題解決に向けた手法や先進的な取組事例について、学識経験者及び地方公共団体等による講義やグループ演習を行い、**地域モビリティに関する企画立案能力やマネジメント能力の向上**の機会を提供します！

お申し込み期間は**7月14日(金)まで**となっておりますので、ぜひ奮って本研修の機会をご利用いただきますよう、ご案内申し上げます。

詳細につきましては、右のリンクからチラシ(PDF)をご覧ください。

※昨年度までとは開催時期・お申し込み期間が異なります。ご注意ください。

【お問合せ先】

国土交通大学校 計画管理部 企画情報科 西尾・岡村・松本

電話:042-321-7074

E-mail:col-keikakukanri4(at)gxb.mlit.go.jp ※(at)を@に変えてお送りください

8/23(水)
~8/25(金)

開催

お申込み受付中



(クリックで PDF に移動)

▶ 旅客流動分析におけるビッグデータの利活用に関する手引書を作成

「総旅客流動分析におけるビッグデータの実践的な利活用の手引き」

を公表しました

国土交通省総合政策局 総務課 政策企画官(総合交通体系)では、携帯電話の位置情報データ(ビッグデータ)を活用し、地域課題の解決や、従来の交通調査では得られなかった知見の取得を目指す事業を実施しています。

このたび、令和3・4年度に実施した実証実験事業の成果(計17件採択)を基に、**旅客流動分析におけるビッグデータの実践的な利活用への手引き**を作成し、ホームページ上で公表しました。

携帯電話から得られる位置情報のビッグデータを活用し、**どんな課題に対してどう取り組んだのか**解説しながら、ビッグデータによる分析方法やデータの使い方に関する留意点も取り上げています。

本手引きにより、ビッグデータの利活用が推進されることが期待されます。

【実証実験事業(令和3・4年度)において取り組んだ課題の例】

分野	取り組んだ課題
交通施策	・道路渋滞 ・PT 調査の補完データ構築 ・都市全体の交通事象の俯瞰的分析 ・駅前空間整備の規模、機能の検討 ・利便性の高い乗換機能の検討 ・脱炭素 等
観光	・観光客の誘致 ・滞在型観光のための施策の検討 ・ゴミ投棄問題 等
まちづくり	・地域活性化 ・中心市街地問題 ・大規模商業施設の開設への対策 ・観光閑散期の誘客 等

【「総旅客流動分析におけるビッグデータの実践的な利活用の手引き」本編はこちらから】

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/content/001612990.pdf>



▶ 地域交通の計画・マネジメントにおけるデジタル技術活用に関する手引書を作成 「地域モビリティ確保の知恵袋 2022」を公表しました

国土交通省 総合政策局 総務課 政策企画官(総合交通体系)では、今年3月に発刊した「地域モビリティ確保の知恵袋 2022-『地域交通の計画・マネジメント』におけるデジタル技術活用-」を、ホームページ上で公表しました。

本書は、事例調査を基に、地域交通の計画・マネジメントにおけるデジタル技術活用のあり方やポイントを、以下4つの着眼点でまとめたもので、地域のモビリティ確保の一助となれば幸いです。

①データ取得：ICカード2タッチ化によるODデータ取得



(出典：兵庫県神戸市資料)

②データ活用：ICカードデータによるバス利用実態の分析



(出典：岐阜県岐阜市資料)

③マネジメント：デマンド型交通のきめ細かな見直し



(出典：福島県津若松市資料)

④推進体制：市と県の連携によるデータ整備ノウハウの横展開



(出典：中津川市ウェブサイト)

【「地域のモビリティ確保の知恵袋 2022」本編はこちらから】

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/chiebukuro.pdf>



▶ 情報活用推進課(政策統括官付)からのご案内 人流データ可視化ツールを試作・公開しました

人流データは交通・都市計画、まちづくり、観光、防災等の分野での活用が期待されています。国土交通省 情報活用推進課(政策統括官付)では、手持ちの人流に関する各種データ(メッシュ、ポイント、OD など)を簡易な操作のみで地図上で可視化・分析を行えるようなツールを試作開発しました。

本ツールは、QGIS(無償のGISソフト)のプラグインとして提供しています。ぜひご活用ください。

【人流データ可視化ツール ～可視化例～】



【人流データ可視化ツール公開ページ】

[国土情報:人流データの流通環境整備・利活用拡大支援事業 - 国土交通省 \(mlit.go.jp\)](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/chiebukuro.pdf)

【お問合せ先】

国土交通省 不動産・建設経済局 情報活用推進課 武林・竹本

電話:03-5253-8353 E-mail: hqt-mlit-pfvtool(at)gxb.mlit.go.jp ※(at)を@に変えてお送りください

Information

▶ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、下記までご連絡ください。

▶ 地域の取り組み・イベント案内 募集中！

当課では、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。地域の交通拠点の形成・再編による地域交通の維持・活性化の取組などを本メールマガジンで紹介し、ノウハウ等の情報共有ができればと考えております。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にお寄せ下さい。

また、イベントや勉強会・講演会・セミナーなどにつきましても、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方からでも、耳よりの情報でも構いません。是非お寄せください。

【ご意見・情報提供】 [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取組を幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンです。主な配信先は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。当メールマガジンで紹介する記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。配信申込は以下からお願いいたします。

【配信申込】 以下を添えて、メールでお申し込みください。
(団体の場合)所属、氏名、電話番号、メールアドレス
(個人の場合)所属(職業)、氏名、電話番号、メールアドレス

【申込先】 国土交通省総合政策局総務課(総合交通担当) メールマガジン担当宛

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

TEL: 03-5253-8111(内線 53-113)

【バックナンバー】

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou tk 000005.html



また、当メールマガジン以外にも、公共交通政策全般について、国民の皆様に関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下より配信のご登録をお願いします。

【配信登録】

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport tk 000039.html



※配信先の変更について

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方につきましては、配信先のご変更をお願いいたします。なお、様々な部署で楽しんで頂けるよう努めて参りますので、配信継続も歓迎しております。

【配信先の変更申請】 [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

【本メールマガジンについての問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課(総合交通体系グループ) 担当:島川

TEL: 03-5253-8111(内線 53-113)

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) (※(at)→@)

総合交通体系 Web サイト: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

